



もりおかさとこ
森岡聡子議員

本市の目指す地域包括ケアシステムと
地域共存社会の実現について問う

議員 介護の担い手不足の深刻化、高齢者の社会参加への継続、促進について考えをたずねる。

健康福祉部長 高齢者の自立した生活を支援する取組を進めている。高齢者が意欲、能力を生かして、就労の場や、生涯学習の機会、ボランティア活動など、社会活動の中で活躍できる場面や機会を支援し、新たな活力として期待したい。

議員 本市の高齢就労施策への取組についてたずねる。

市長 高齢者の雇用に関わる法律の改正により、原則65歳までの希望者全員が継続して働ける状態が整った。今後、新たな業務の発掘、拡大に努めていきたい。



地域課題の取組について問う

議員 金浦中学校区における小中一貫教育の進捗状況についてたずねる。

教育長 令和4年度中に基本計画を策定し、令和5年度に詳細設計、令和6、7年度に建設、令和8年度中に小中一貫教育校での学びがスタートできるよう進めている。

議員 篠坂パーキングエリアスマートインターチェンジの進捗状況と課題についてたずねる。

建設部長 令和5年度に用地測量、土地の取得、令和6年度から道路整備工事に取り掛かり、令和7年度末の完成を目指している。騒音や排ガス、渋滞などへの対策が必要。利便性の向上に寄与できるように努めていきたい。



まなべ ようこ
真鍋陽子議員

地域通貨による企業支援・地域
コミュニティ形成について問う

議員 地域内経済循環・持続可能な地域づくりツールとして、また行政コスト削減ツールとしてのデジタル地域通貨について、本市の見解をたずねる。

政策部長 デジタル地域通貨には導入、維持管理、セキュリティ対策にかかるコストの発生、大手キャッシュレス決済サービスとの競合、利用可能場所などの限定という不便さを補ってでも使いたいという動機づけや、地域でしか使えないデメリットを払拭するほどのインパクトのあるインセンティブが必要。本市は大型商業施設を抱える都市経済圏にあるため、備後圏域連携中枢都市圏や高梁川流域連携中枢都市圏といった広域連携の枠組みでデジタル地域通貨を活用するほうがメリットが大き

議員 昨年6月議会においても質問しているが、答えが変わっていない。笠岡市は様々な場所に通貨が出やすいからこそ、単独でデジタル地域通貨を行う必要がある。地域を育てる、地域を強くするということを考えていただきたい。

市長 マイナンバーカードを基軸にするというのも一つの考え方だと思っっている。

他、参議院選挙における低投票率、投票済証について、岡山県家庭教育応援条例について質問しました。

